

# 付属資料



## (1) 都市拠点の整備方針

各都市拠点の整備に向けては、都市機能誘導区域内における誘導施設の整備や立地誘導を進めるとともに、波及効果の高いまちづくりに向けて、事業熟度の高い地区から、都市構造再編集中支援事業等を活用しつつ、一体性の高い区域内で、官民連携と創意工夫による、総合的なまちづくりを検討・実施していきます。

### 【都市構造再編集中支援事業等を活用した取組みメニュー例】

- ・道路・公園等の整備
- ・地域生活基盤施設の整備（広場・情報板・駐車場・地域防災施設など）
- ・高次都市施設の整備  
（地域交流センター、観光交流センター、テレワーク拠点施設、子育て世代活動支援センターなど）
- ・高質空間形成施設の整備（公共空間の高質化や緑化、歩きたくなる回遊空間の整備など）
- ・独自の提案事業（社会実験等のまちづくり活用の推進に関する事業など）

また、公共施設の新築または改築を行う際には、太陽光発電・太陽熱利用システム等の導入を積極的に検討します。

## (2) 重点プロジェクトの整備イメージ

### ■重点プロジェクトのイメージ例（市民文化センター周辺整備）

#### ◆ 周辺地域のエリアコンセプト



- 「子育て世代・子ども」「若者（中高生含む）」「働く人」「居住者」を主たるターゲットに、日常と非日常の相乗効果によって、新しい魅力を生み出すまち。
- 学校・仕事・生活の中（日常）でふらっと立ち寄り気軽に憩える場・文化活動・自己表現の発信など（非日常）を行う場、それらが重なり・つながることで新たなる魅力を創出するエリア。環境、防災を含めた先導的エリアとして生活の質をより良くし、まちなか居住を推進する。



#### ◆ 関連施設の整備方針

- 市民文化センター基本構想整備方針に伴い、関連施設の複合化を検討（こども発達支援センター、子育て包括支援センター、休日・夜間急患センター等）

## ■一宮町・繁本町周辺地区で想定される事業のイメージ

### 行政・文化施設の集積と歴史文化資源を生かしたまちなか居住を促進する拠点の形成

- 魅力機能を有した文化・教育・福祉等の市の核となる複合施設（PPP/PFIの活用検討）
- 拠点施設の利便性を高める安全で快適な道路の整備
- スマート街路灯・Wi-Fi機能の整備
- 景観や防災に配慮した電線の地中化
- 駐車場・駐輪場の整備
- 防災備蓄倉庫、耐水性・貯水槽等の防災施設の整備
- 回遊性を創出する快適で安全な歩行空間の整備
- 拠点施設と一体的な利用となる公園の再整備

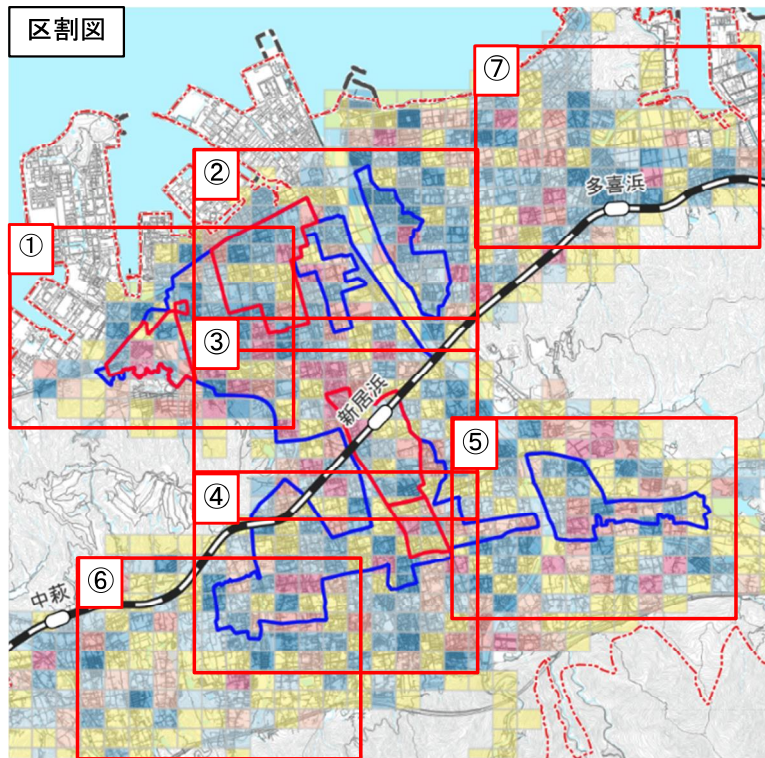
### 子育て支援機能の強化

- 医療を含む子育て関連の複合施設の立地
- 再生可能エネルギーの利活用と脱炭素化の促進となる充電スタンドの整備
- 駐車場・駐輪場の整備
- 歩行者、通学路の安心安全な歩行空間の整備
- 小中学校の統廃合を含めた学校施設の再編

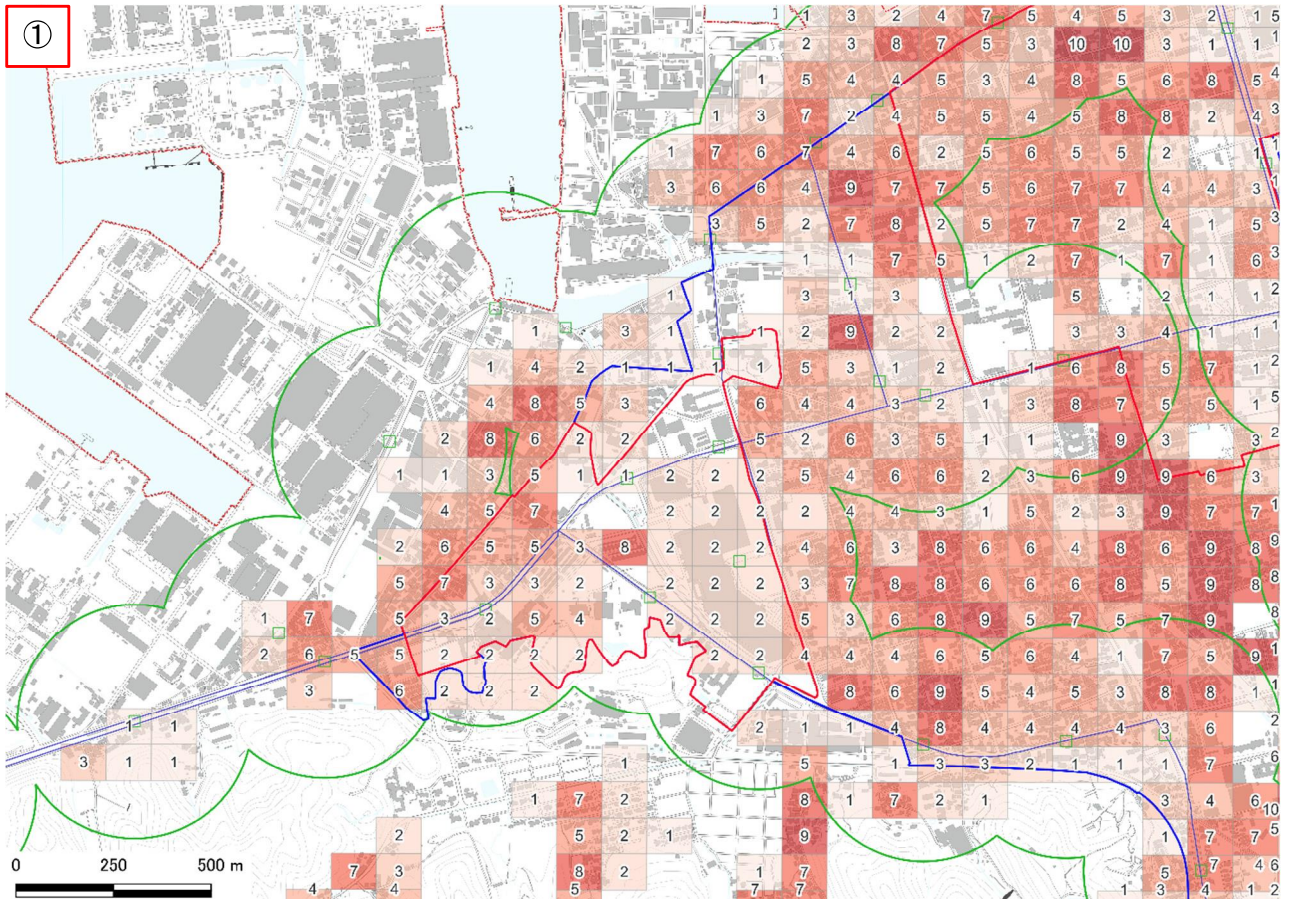


### (3) 居住性評価結果 (詳細版)

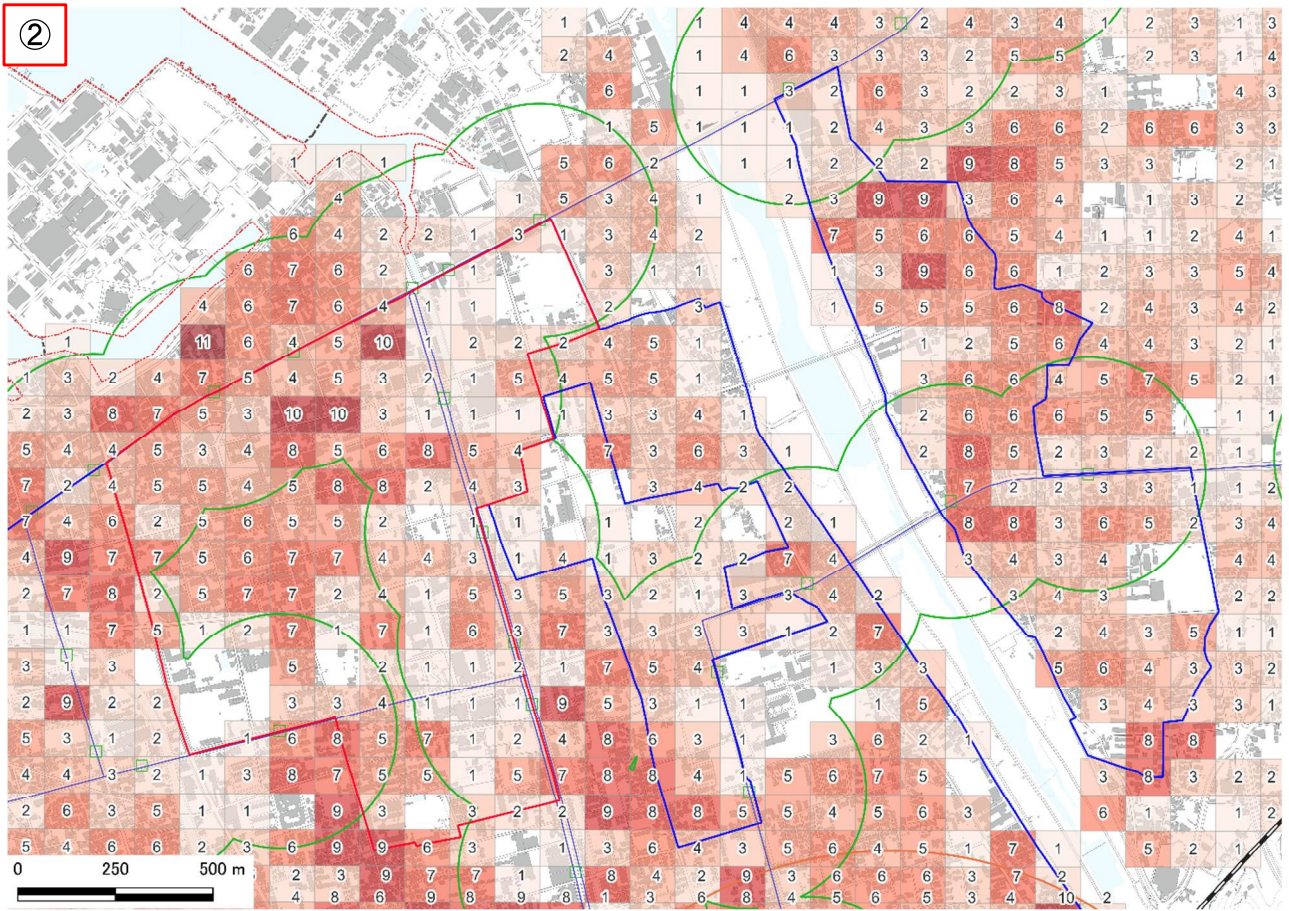
今回の計画改定にあたって、居住性を再評価しており、全体図は(2)居住誘導区域の検証で提示していますが、居住誘区域を拡大した詳細版を以下に示します。



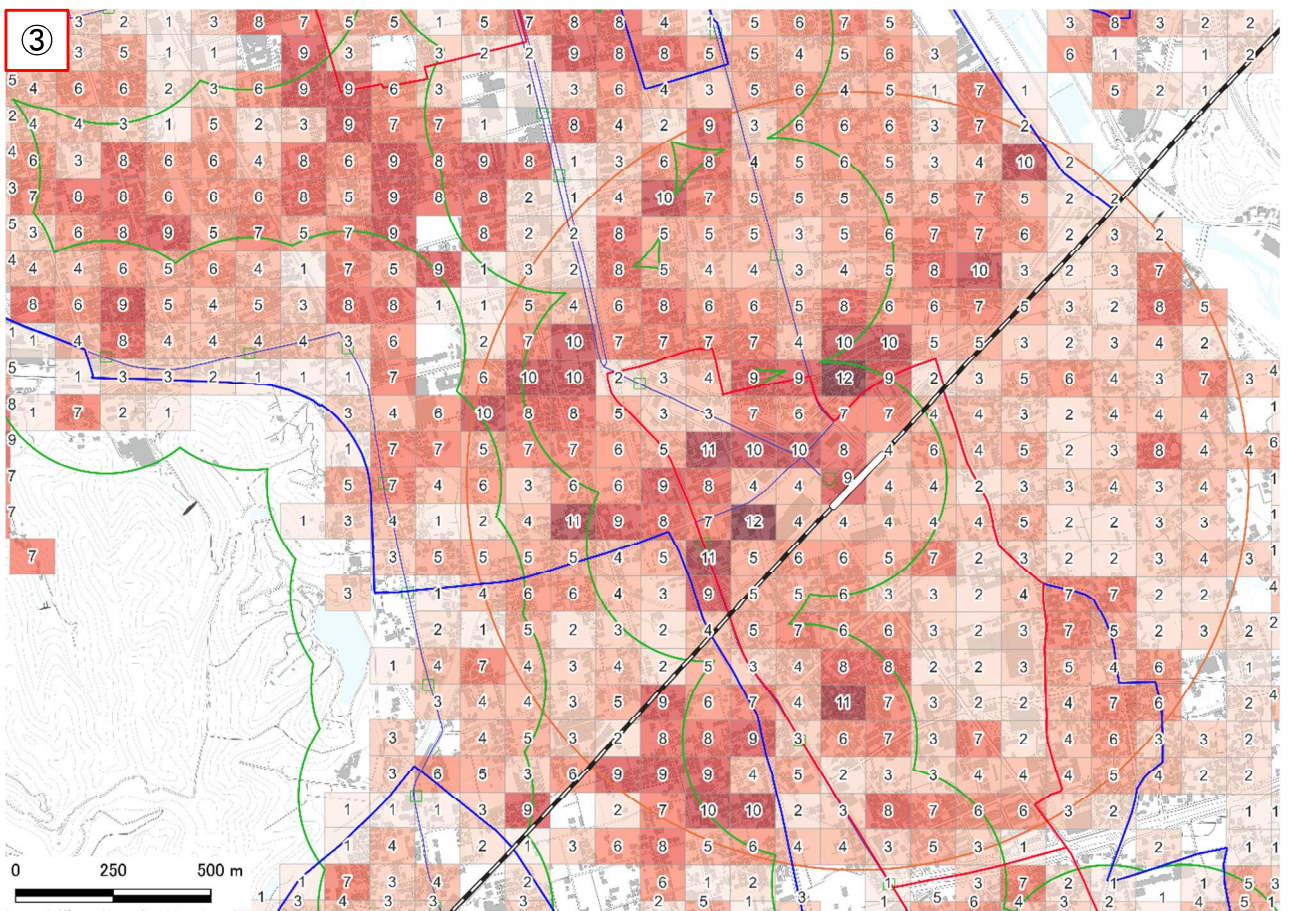
資料: 国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報



資料: 国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報

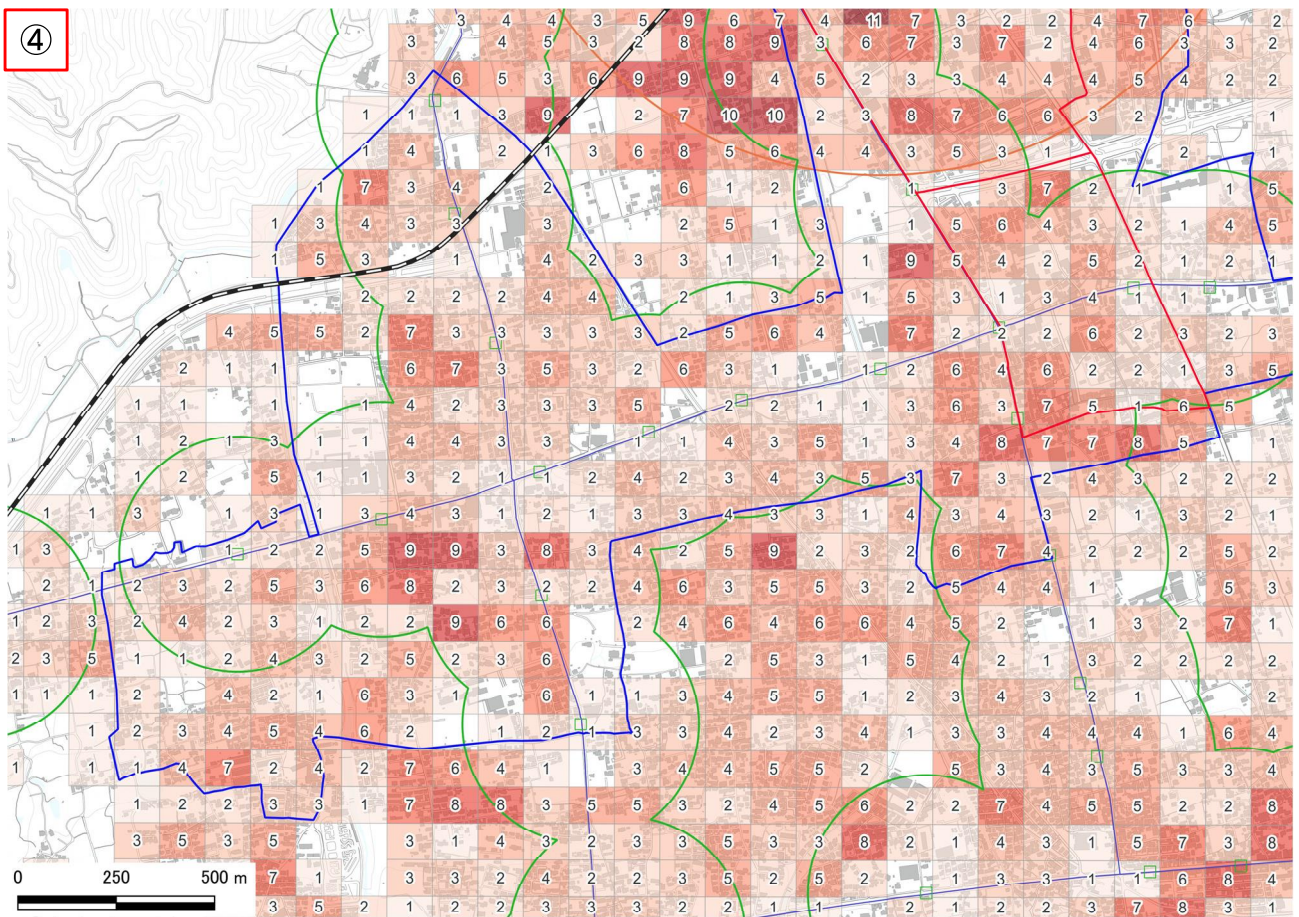


資料：国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報



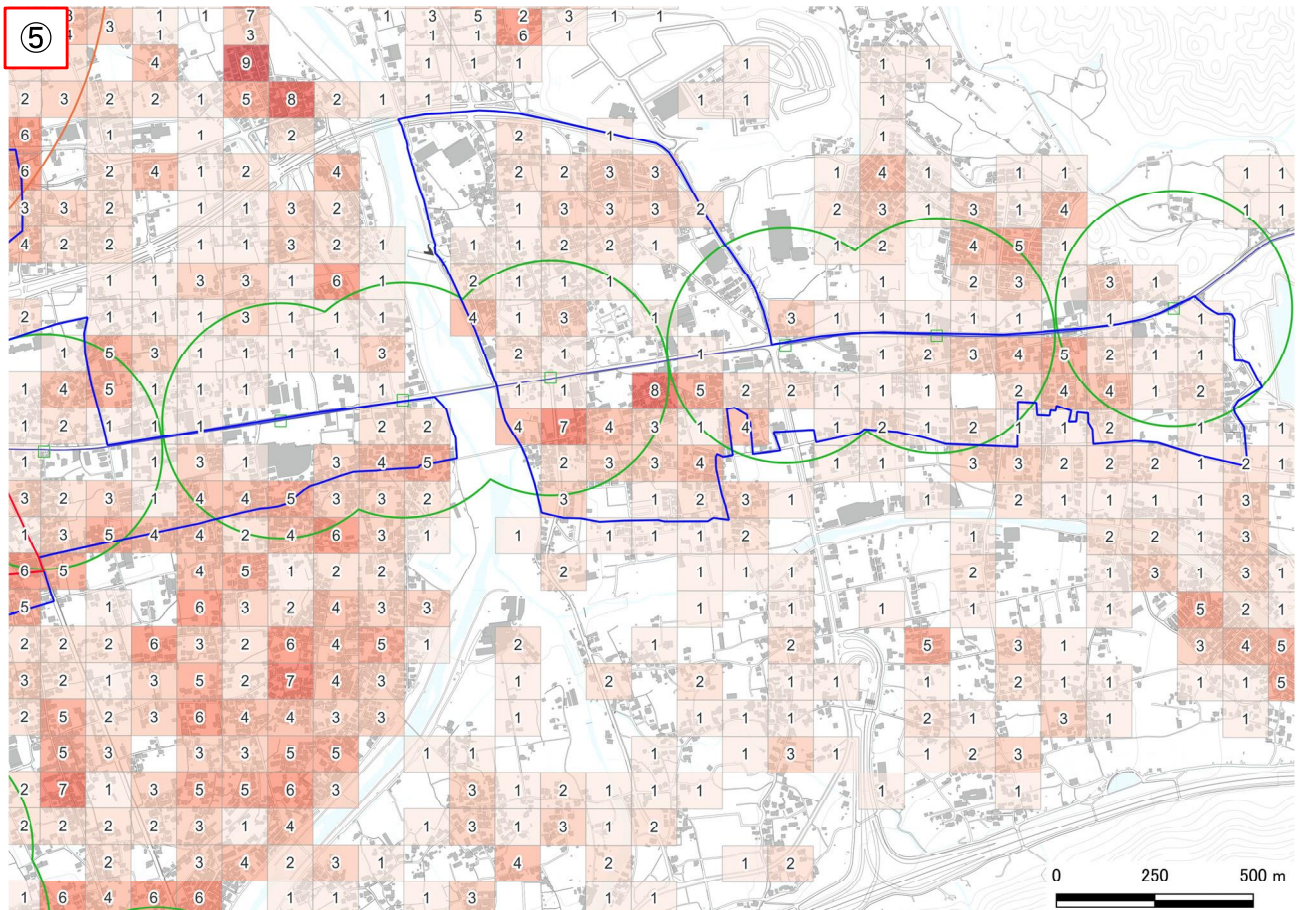
資料：国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報

④

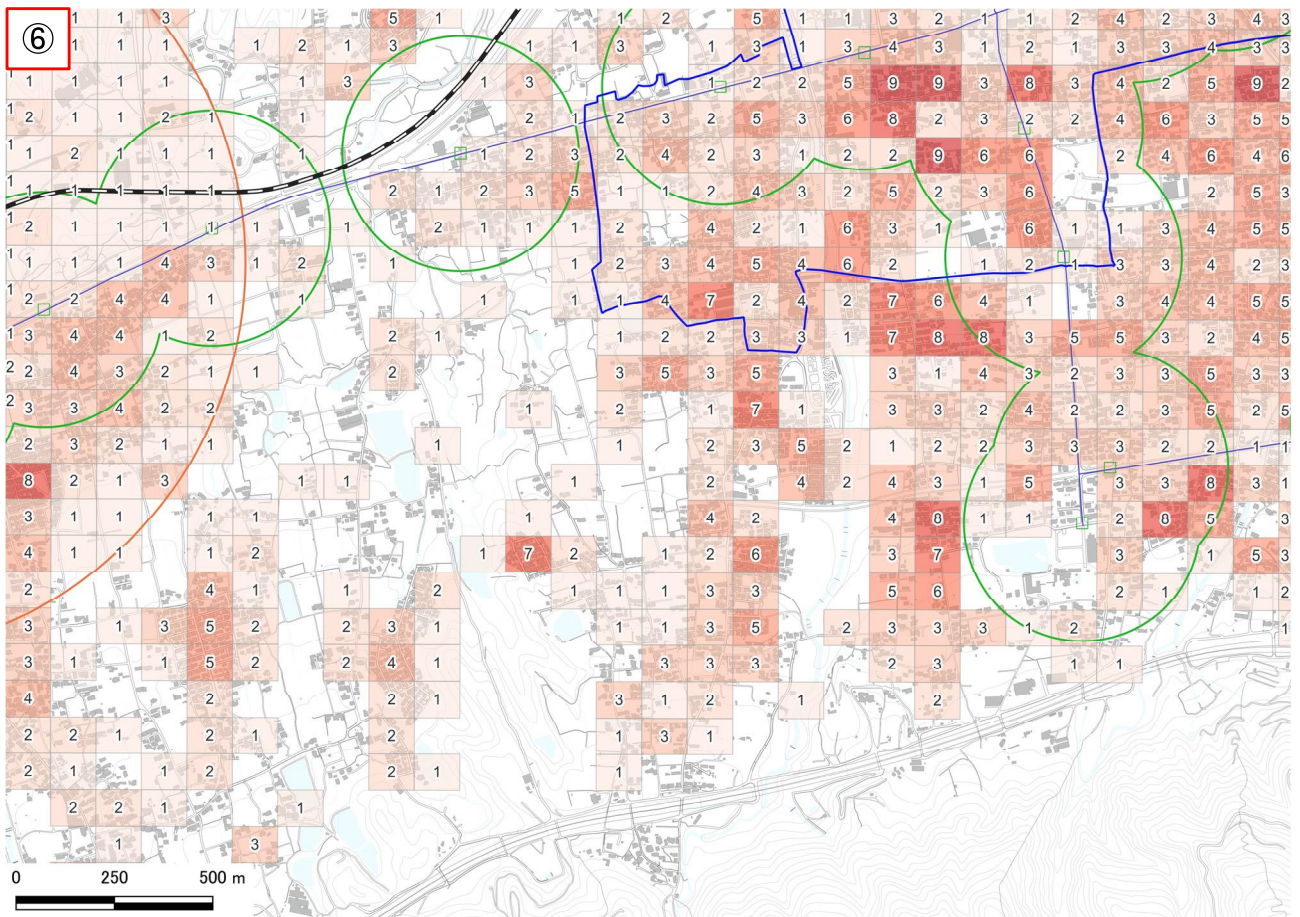


資料: 国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報

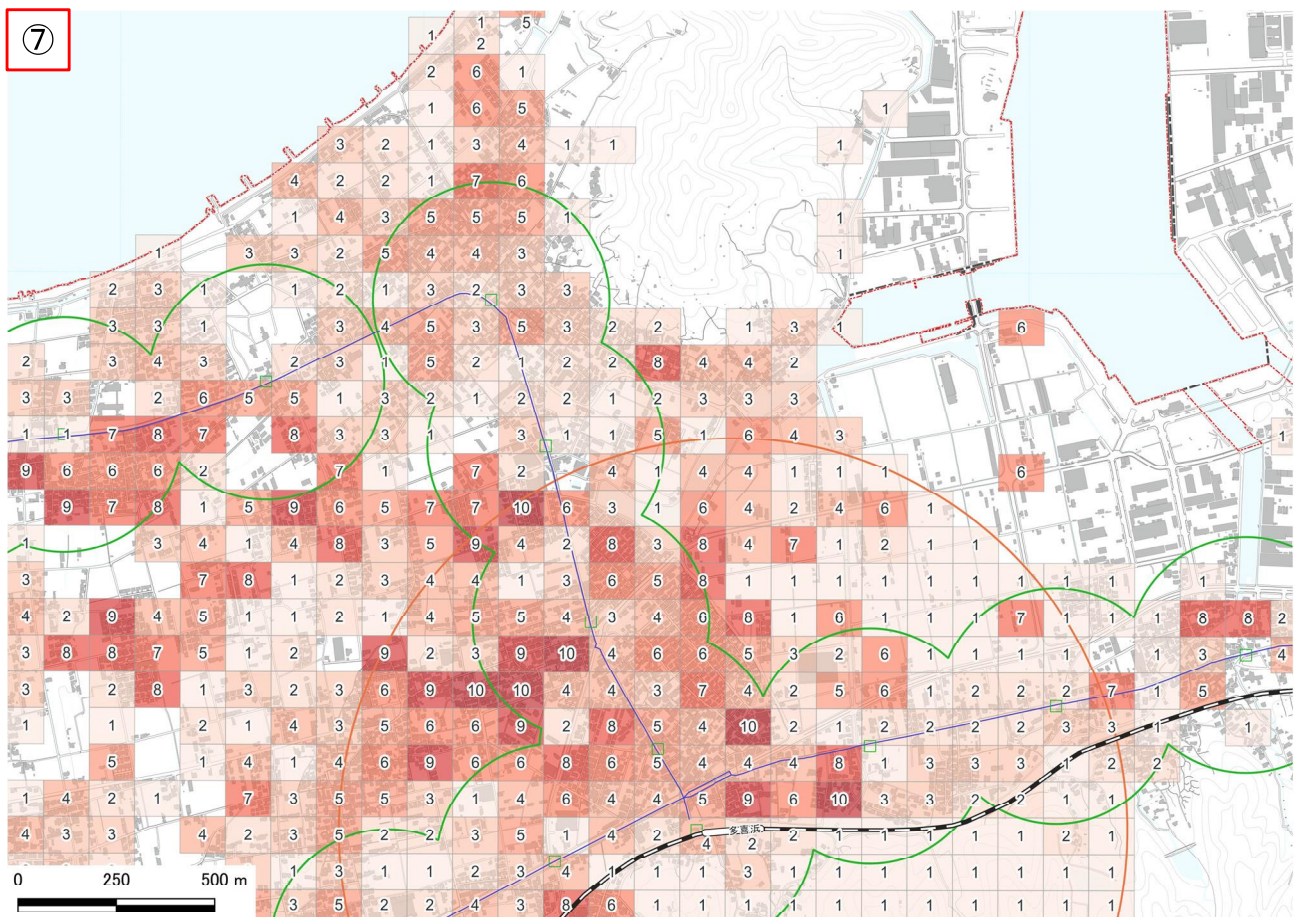
⑤



資料: 国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報



資料: 国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報



資料: 国土数値情報、都市計画基礎調査、愛媛県、新居浜市地域公共交通網形成計画改訂版、基盤地図情報



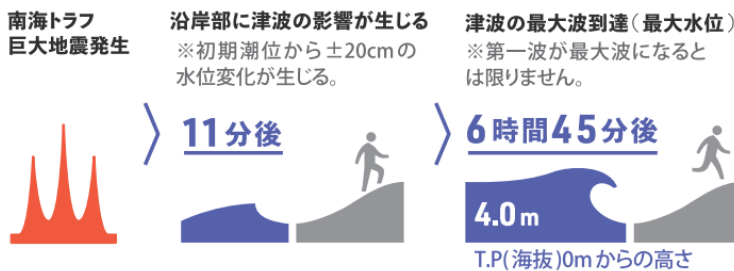
## (4) 新居浜市で想定される災害規模の想定

### ■津波

津波浸水想定は、満潮時に最大クラスの津波（南海トラフ巨大地震（M9）が発生し、全ての堤防が決壊した場合に最高津波高（1.5m）、満潮時の潮位（1.9m）とせき上げ高（0.6m）を加えた最高基準水位が4.0mと想定される津波）が悪条件下で発生した場合に想定される浸水の区域と浸水深を示しています。

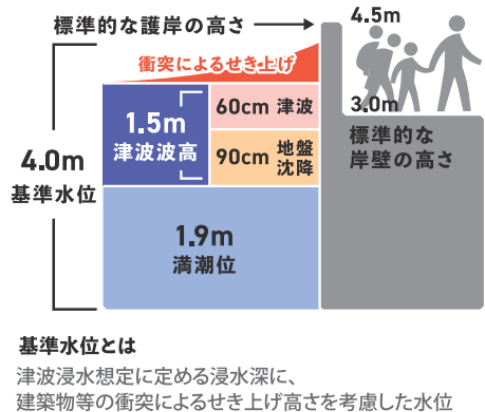
また、地震発生から、沿岸部に津波の影響が出るまでの想定時間として、津波到達時間を示しています。

#### 沿岸部に津波の影響が出るまでの想定時間



資料：新居浜市総合防災マップ（R5）

南海トラフ巨大地震に伴う  
新居浜市の最高基準水位は4.0mの内訳  
満潮時1.9m+津波波高1.5m+せき上げ高0.6m  
(地盤沈降0.9mを加味)



### ■高潮

高潮浸水想定は、最大規模の台風（中心気圧が900hpa、最大旋衡風速半径75km、台風の移動速度時速73km、最大浸水深4.6mと想定される台風）を基本とし、各海岸で潮位偏差（潮位と天文潮位の差）が最大となるよう複数の経路を設定して高潮シミュレーションを実施し、その結果を重ね合わせた浸水の区域と最大浸水深を示しています。

#### 愛媛県に高潮被害を及ぼす台風の想定進路3コース



#### ⚠ 高潮と津波の違い

##### 高潮

台風や発達した低気圧などに伴い、気圧が下がり海面が吸い上げられる効果と強風により、海水が海岸に吹き寄せられる効果のために海面が異常に上昇する現象です。

##### 津波

「海底の地震」によって急激な地形の変化で、海面が広域に上下し、波長の長い、高い波が発生する現象です。

資料：新居浜市総合防災マップ（R5）

## ■洪水（外水）

洪水浸水想定は、おもに国領川、渦井川、東川、尻無川、王子川が想定し得る最大規模の降雨によって、堤防が決壊し、氾濫した場合に想定される浸水の区域と浸水深、家屋倒壊等氾濫想定区域を示しています。

## 洪水浸水想定区域

Foreseeable areas of flood and inundation

浸水の深さ Flood depth	5.0～10.0m未満 2階の屋根以上が浸水	5.0 to 10.0 m Flooding above the roof of the second floor
	3.0～5.0m未満 2階の屋根まで浸水	3.0 to 5.0 m Flooding up to the roof of the second floor
	0.5～3.0m未満 2階の床下まで浸水	0.5 to 3.0 m Flooding up to the floor of the second floor
	0.5m未満 1階の床下まで浸水	less than 0.5 m Flooding up to the floor of the first floor

## 家屋倒壊等氾濫想定区域

Anticipated inundation zones with risk of homes being destroyed

家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

出典：愛媛県

国領川 平成28年 5月13日公表

渦井川 令和 2年 6月 5日公表

東川 令和 5年 5月30日公表

尻無川 令和 5年 5月30日公表

王子川 令和 5年 5月30日公表

## ◎前提となる降雨

国領川 国領川流域の1日間の総雨量 755mm

渦井川 室川流域の1日間の総雨量 768mm

東川 東川流域の24時間の総雨量 774mm

尻無川 尻無川流域の24時間の総雨量 782mm

王子川 王子川流域の24時間の総雨量 787mm

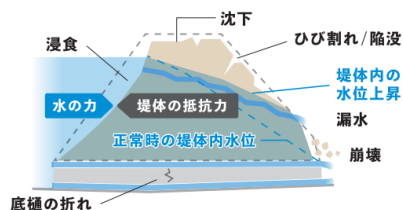
資料：新居浜市総合防災マップ（R5）

## ■ため池

ため池浸水想定は、池田池、青木下池をはじめとした、ため池の堤体が大雨や地震で破損（亀裂・漏水）し、破損した堤体が貯水に耐え切れず決壊した場合に想定される浸水の区域と浸水深を示しています。

### ため池氾濫が起こるのは？

大雨や地震で堤体が破損（亀裂・漏水）し、破損した堤体が、貯水に耐え切れず決壊します。



大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤体で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤体が浸食されて、ため池が決壊するおそれがあります。



地震  
(震度4以上)

地震による強い揺れによって、堤体に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化して、ため池が決壊することもあります。

資料：新居浜市総合防災マップ（R5）

## ■地震

地震による液状化分布は、最大クラスの地震（最大震度 7、最大クラスマグニチュード 9.0 で人的被害 1841 名、全壊の建物被害 35,169 棟が想定される地震）が発生した場合に想定される液状化危険度を示しています。

愛媛県内で被害が想定されている南海トラフ巨大地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として、概ね 100～150 年間で繰り返し発生してきた大規模な地震です。その発生確率は、今後 10 年以内で「30%程度」、30 年以内では「70～80%」、40 年以内では「90%程度」と予測されています。

新居浜市内においても、広範囲で甚大な被害が予想されていますので、引き続き十分な警戒が必要です。



### 新居浜市の最大震度は7です!

最大

**震度 7**

震度は、地震の揺れの大きさを表した指標値

最大クラス

**M9.0**

マグニチュード(M)は、地震が発するエネルギーの大きさを表した指標値

避難者数 (1ヶ月後:冬18時)

**81,348名**

人的被害 (死者:冬深夜)

**1,841名**

建物被害全壊 (冬:18時)

**35,169棟**

凡例

震度階級

- 震度 7
- 震度 6 強
- 震度 6 弱

出典:愛媛県地震被害想定調査結果(最終報告)

資料：新居浜市総合防災マップ (R5)

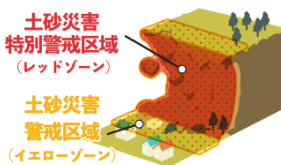
## ■土砂災害

土砂災害の想定は、山間部、急傾斜地、下流部において、集中豪雨や地震によって、急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）、土石流、地すべりが発生した場合に想定される土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域を示しています。

**3つの土砂災害** 発生のしくみや土砂の働き方から、大きく「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」があります。

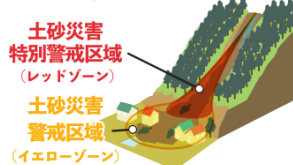
### 1 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

傾斜した土地が崩壊する自然現象。突然崩れ落ちるため、ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。



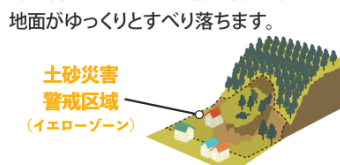
### 2 土石流

山肌が崩落して生じる土石などや、溪流の土石などが一体となって流下する自然現象。その流れの速さは、時速20km～40kmで、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 3 地すべり

地面は何層もの地層が積み重なってできていますが、大雨が降り続けると地下に水がしみこみ、水を通しにくい粘土層の上に地下水がたまりやすくなります。この地下水の力に持ち上げられて、粘土層を境に上の地面がゆっくりとすべり落ちます。



土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建物が壊れて命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、命や身体に危害が生じるおそれのある区域

資料：新居浜市総合防災マップ (R5)

## (5) 各種設定根拠

---

### ■鉄道駅、バス停の徒歩圏

鉄道駅、バス停の徒歩圏は、「都市構造の評価に関するハンドブック」において、「公共交通沿線地域」として鉄道駅は 800m、バス停は 300mと記載されていますが、新居浜市では、市内にある鉄道駅は3駅のみであるため、半径 1 kmを鉄道駅の徒歩圏としています。バス停については、ハンドブックと同じ 300mを徒歩圏としています。

### ■サービス圏域

医療機関、老人福祉施設、商業施設など、各種都市機能施設のサービス圏域は、「都市構造の評価に関するハンドブック」では、通常の鉄道駅の徒歩圏である 800mとしており、本計画においてもその値を用いています。

### ■避難可能距離

「都市構造の評価に関するハンドブック（国交省）」で高齢者の一般的な徒歩圏を半径 500mとしていることや、「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書（消防庁）」にて、避難できる限界の距離を 500m と設定していることなどから、本計画では、各図において、避難施設から避難可能な距離にある圏域として、半径 500m 圏を示しています。

### ■築年別による建築物の分類

昭和 56 年 6 月 1 日に建築基準法が改正され、新耐震基準が制定されました。それにより、それまで以上に大きな地震に耐える構造が求められるようになりました。昭和 56 年以前の建築物は、耐震性が低く、地震時の倒壊の可能性が比較的高いことから、本計画では、旧耐震基準の建築物として、昭和 56 年以前の建築物のみを分類し表示しています。

（ただし、データの都合上、昭和 56 年 6 月 1 日から 12 月 31 日の新耐震基準制定後の建築物は昭和 56 年以前の建築物に含まれています。）

## (6) 用語解説

### あ行

空き家バンク制度	空き家の賃貸・売却を希望する所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利・活用したい方に紹介する制度のこと
アクセス	交通手段、交通の便のこと
アンダーパス	交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のこと
移住者住宅改修支援事業	子育て世帯や働き手世帯の移住を促進するため、愛媛県外から本市への移住者が行う住宅の改修等に対して補助を行う本市の事業のこと
インフラ	インフラストラクチャー (Infrastructure) の略で、生活・産業等の経済活動を営む上で不可欠な交通・治水・上下水道・電力・通信等の社会基盤のこと
液状化	ゆるく堆積した砂の地盤に強い地震動が加わると、地層自体が液体状になる現象のこと
SDGs	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標のこと

### か行

外水氾濫	大雨によって川の水が堤防から溢れたり、河川堤防が崩れて浸水したりすること
開発行為	主として建築物の建築またはコンクリートプラントやゴルフコースなど特定工作物の建設に供する目的で「土地の区画形質の変更」を行うもの
家屋倒壊等氾濫想定区域	家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域のこと
基幹管路耐震化率	導水管や送水管など、「基幹管路」と呼ばれる水道管の耐震化率(管路総延長に対する耐震管延長の比率)のこと
基幹公共交通軸	公共交通ネットワークの骨格を担う主な公共交通軸(都市拠点を結ぶ路線など)のこと
居住誘導区域	人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域のことであり、都市再生特別措置法に基づき立地適正化計画で定める区域のこと
緊急輸送道路	災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路のこと
交通結節点	徒歩、自転車や自動車、バス、電車などの複数の交通手段が集まり、相互に乗り換えることができる鉄道駅などの場所のこと
交通弱者	自動車中心社会において、自動車を保有せず、車による移動を制約される人のこと
交流人口	通勤・通学、文化、スポーツ、買い物、観光など人々の交流によりその地を訪れた人口のこと
コーホート変化率法	コーホートと呼ばれる5歳階級ごとの年齢別人口の2時点間における変化率に基づいて将来人口を算出する方法のこと

## さ行

サイクル&バスライド	最寄りのバス停まで自転車で行き、そこからバスに乗り換えて、通勤・通学や買い物等に向かう方法のこと
再生可能エネルギー	石油や石炭、天然ガスといった有限な資源により得られる化石エネルギーとは違い、太陽光や風力、地熱といった地域資源の一部など自然界に常に存在する資源により得られるエネルギーのこと
自主防災組織	主に自治会が母体となって地域住民が自主的に連帯して防災活動を行う任意団体のこと（例えば、自治会防犯部といった組織や、地域の女性防火クラブ、その他防災関連の NPO など）
充電スタンド	電気自動車等の乗り物の充電に用いる地上設置型の充電施設のこと
集約型都市構造	市街地の無秩序な拡大を抑制し、公共交通にアクセスしやすい場所（都市拠点等）に、医療・福祉・商業施設等の生活サービス機能や居住機能を集積させる「多極ネットワーク型コンパクトシティ」のこと
人口カバー率	特定の施設を中心とした一定の圏域内（本計画では、鉄道駅から半径 1km、バス停から半径 300m の圏域内を想定）に居住する人口の総人口に占める比率のこと
垂直避難	水害のおそれがあるときに、自宅・施設等の浸水しない上階等への移動や、土砂災害のおそれがあるときに少しでも安全な上階等へ移動するなど、建物の高層階（垂直方向）に避難すること
スマート街路灯	無線機器等を付帯して LED 照明にカメラ・デジタルサイネージ・各種センサー機能等を付加したもの

## た行

地区計画	「地区レベルでのまちづくりの方針（ビジョン）」や「道路、公園の配置や建物の用途や高さ、容積率、壁面の位置等」について、地区の特性に応じてきめ細かく定め、良好なまちづくりを進める都市計画の手法のこと
D I D	人口集中地区（Densely Inhabited District）の略で、人口密度が 40 人/ha 以上の国勢調査の調査区が集合し、合計人口が 5,000 人以上となる人口密度が高い地域のこと
低未利用地	本来なら建築物などが建てられ、その土地や周辺地域にふさわしい利用がされるべき土地が、未利用な空き地であったり、利用程度が周辺地域に比べ著しく劣っている状態の土地のこと
デジタルサイネージ	公共空間に設置され、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアのこと
デマンドタクシー	路線バスを補う交通手段として、一般のタクシーと異なり、決められた時間の中で、予約のあった便のみ運行する乗り合いタクシーのこと
テレワーク	パソコンや情報通信技術を利用し、時間や場所の制約を受けずに職場から離れて柔軟に働く形態のこと
特定用途制限地域	自治体が特定の用途の建築物に対して規制できる地域のことであり、本市では用途白地地域で指定している
都市機能誘導区域	医療・福祉・商業等の都市機能を都市の拠点で維持・確保することにより、各種サービスの効率的な提供を図る区域のことであり、都市再生特別措置法に基づき立地適正化計画で定める区域のこと

都市機能誘導施設	立地を誘導すべき都市機能増進施設（居住者の共同の福祉や利便性の向上を図るために必要な施設であって、都市機能の増進に著しく寄与する施設）のこと
都市計画区域	市町村の中心の市街地を含み、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などを勘案して一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要がある区域として、都市計画法に基づき指定される区域のこと
都市計画公園	都市の健全な発展と秩序ある整備を目的とし、必要な区域を明確にして都市計画法に基づき都市計画決定されている公園のこと
都市計画道路	良好な市街地環境を整備する都市計画と一体となって整備される道路のことで、都市の基盤的施設として都市計画法に基づき都市計画決定されている道路のこと
都市構造再編集中支援事業	立地適正化計画に基づき、地方公共団体や民間事業者等が行う都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化、災害からの復興、居住の誘導の取組等に対し集中的な支援を行い、各都市が持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ることを目的とする事業のこと
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域のこと
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあり、一定の開発行為の制限及び建築物の構造の規制をすべき区域のこと
土地区画整理事業	道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善しつつ、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業のこと

## な行

内水氾濫	大雨によって、下水道や道路側溝などの排水機能が追い付かず、水が溢れだす現象のこと
新居浜市首都圏移住支援事業	東京 23 区（在住者または通勤者）から本市へ移住し、移住支援事業の対象とする求人に就業する等、必要な要件を満たす人に対して、予算の範囲内で移住支援金を交付する本市の事業のこと
農用地区域	農業振興地域内の土地で、優良農地として長期にわたり農業上の利用を図る土地として設定する区域のこと
ノーマイカーデー	一定の日や期間を「ノーマイカーデー」と定め、自家用車の利用自粛と公共交通機関の利用を呼びかけること
ノンステップ車両	乗降口の段差（ステップ）を無くして乗降性を高めた低床のバスのこと

## は行

ハザードマップ	浸水想定区域、土砂災害危険箇所など自然災害による被害を予測し、被害の想定区域（ハザードエリア）、避難所等を地図化したもの
バスロケーションシステム	バスの到着時刻やバスの現在位置などをパソコン、スマートフォン、携帯電話からリアルタイムに閲覧できるサービスのこと
バリアフリー	対象者である障がい者を含む高齢者等が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障がいや、精神的な障壁を取り除くための施策、若しくは具体的に障がいを取り除いた事物及び状態のこと
PFI	Private Finance Initiative の略で、民間活力を活用した公共施設の建設及び維持・運営手法のこと
PPP	Public Private Partnership の略で、公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、「官民連携」とも呼ばれ、民間の資本やノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの
防災拠点施設	災害時における応急活動や避難等の防災活動の中核を担う公共施設のこと
防災・減災	あらかじめ災害は発生するものであると想定して、被害を拡大させないための取組および災害が発生したときに被害を最小限に食い止めるための取組のこと
防災公園	都市の防災構造を強化し、避難地・避難路として位置づけがある都市公園のこと
防災士	”自助” “共助” “協働” を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人のこと
防災重点ため池	決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設などが存在し、人的被害を与える恐れのあるため池のこと
ポケットパーク	ポケットほどの小公園という意味で、僅かなスペースを利用して都市環境を改善しようとするもの

## ま行

MaaS（シティ）	Mobility as a Service の略称。スマホアプリにより地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと
まちなかウォークアブル推進事業	車中心から人中心の空間へと転換を図る、まちなかの歩いて移動できる範囲において、滞在の快適性の向上を目的として市町村や民間事業者等が実施する、道路・公園・広場等の整備や修復・利活用、滞在環境の向上に資する取組を重点的・一体的に支援し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業のこと
マンホールトイレ	下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもの
メッシュ	対象地域の地図を網の目（メッシュ）状に分けたものを地域メッシュといい、地域ごとの統計情報が整理・公表されている
モビリティマネジメント	過度に自動車に頼る状態から、公共交通や自転車等を適切に利用する状態に少しずつ変えていくための取組のこと



## や行

用途地域	都市の環境保全や利便の増進のため、地域における建物（用途、形態など）に一定の制限を行うことを目的として指定するもの
用途白地地域	都市計画区域内において用途地域を指定していない地域のこと
要配慮者（利用）施設	社会福祉施設、学校、医療施設など、防災上の配慮を要する者（高齢者、障害者、乳幼児など）が利用する施設のこと
ユニバーサルデザイン	道具や空間をデザインするにあたり、障がい者のための特別なデザインを考案するのではなく、すべての人が利用可能で使いやすいように、改良していこうという考え方のこと(universal design)

## ら行

リノベーション	リフォームよりも大規模な改修工事により、既存の骨格（構造）だけを残し、用途や機能を変更して性能を向上させたり価値を高めたりすること（renovation）
---------	---